

令和7年度 第3回たかつコミュニティスクール 議事録	
日 時	令和7年11月27日（木）9時30分～11時30分
場 所	神奈川県立高津支援学校 校長室
出 席	学校運営協議会委員8名 事務局11名
問合せ先	副校長 古川 玉緒 電話 044-865-4921（直通）
欠席委員（2名）	
1 校長挨拶	
<ul style="list-style-type: none"> 学習発表会について、作品展示等あり、この後見学でご覧いただきたい。 資料7、高津版コミュニティスクールのパンフレットの説明。行事スタンダードも載せている。 	
2 会長挨拶	
会長より	
<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ拡大、文化祭の実施検討している学校もある。 ぜひ協議にて忌憚のないご意見をいただきたい。 	
3 進路スタンダードの経過報告	
中堅研修教諭より	
<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育に関するアンケート結果と夏季研修の成果および進路スタンダード作成進捗について、資料に沿って説明。 	
4 防災スタンダードの経過報告	
美化安全係教諭より	
<ul style="list-style-type: none"> 防災教育と防災スタンダード作成の進捗について資料に沿って説明。 	
《協議・質疑応答・意見等》 (●委員より ○事務局より)	
進路スタンダードについて	
●委員：アンケートについて「達成できた」と感じたという基準はあるのか？	
○教諭：指導略案の目標を明確にした上で、その目標を達成したかどうかを授業者が評価している。	
●委員：すなわち主觀での評価ということでよいか？	
○教諭：そうです。	
●委員：ピラミッド全体についての評価もしくは項目についての評価なのか？	
○校長：あくまで授業の評価として項目を主に評価している。	
●委員：進路スタンダードは個別の計画に落とし込んでいくのか？	
○教諭：個別に反映させられるようにしていく予定である。	
○校長：あくまで学校のカリキュラム上での基盤になるものとして作成している。全ての児童生徒に項目を当てはめていくということはしない。	

●委員：達成度の基準を設けた方がよいのではないか？主觀ではないものがあるとよい。

防災スタンダードについて

●委員：防災スタンダードは実際に学校で災害が起こった際のことを想定しているものか？

○教諭：発達段階に応じて学習として設定しているもの。

●委員：実際に災害が起こった際は小学校が一時避難所になっているが、支援学校は開かないのか？

○学校管理 GL：最初の段階では開いていない。高津支援学校は二次避難所としている。川崎市より必要とされる場合は開放する。地域からの要請を市に連絡することはできる。

●委員：地域の小学校には1日分の食料程度しかない。3日間は自助で凌ぐ。開放はしている。公助支援は一週間程度かかる。

●委員：川崎市は二次避難所を開示していない。そのためどこに避難してよいかが分からない。

○学校安全 GL：学校としては川崎市からの指示があるまで開くことはせず、一時避難場所を案内する。いっとき避難場所としての受け入れは行う。

●委員：キャリア教育のアンケートを取るのは非常に良いこと、今後授業に生かすためにどのようなことを考えているか？

○教諭：「働くこととはどういうことか」という問題提起からキャリア教育の考え方を基盤とし、就労準備性ピラミッドを活用し、各項目を具体的な目標や活動を示していく。それを活用できるように考えている。

●委員「自立と社会参加」という目標達成のためにもコミュニケーションは重要である。

○教諭：職業や作業といった職業教育だけでなく、各教科においてもコミュニケーションは生まれる。

●委員：アンケートより学部学年でキャリア教育を取り入れている教科が「0」の部分がある。

○教諭：進路スタンダードを活用して、数値が変わってくるとよい。

●委員：自分の好きなモノ探し、なんのために働くのかという点に回帰するのであれば、そういう余暇の興味関心を広げていくことも大切。

●委員：ただ褒めるということではなく、何に価値をつけるか？という視点がこれから大事である。

-----休憩-----

5 不祥事防止の取組み

教頭より 不祥事防止ゼロプログラムについて、資料に沿って説明。

6 中間評価～年間活動シートより

各 GL より 資料に沿って説明。

《協議・質疑応答・意見等》（●委員より ○事務局より）

●委員：虐待防止の原因是ストレスレベルが高まるところと思われる。外部のメンタルヘルスの活用は行っているか？

○教頭：全県で実施している。高津は秋ごろ実施しており、比較的ストレスは低いという結果になっている。

- 委員：同僚性によって改善できるものもある。お互いに助け合う、フォローし合う関係性を作っていくとよい。
- 委員：PTA の業務効率化について、川崎市、横浜市から通ってくるお子様が多い、働く方も増えているため効率的なワーキングができるとよい。印刷業務量が削減、ZOOM 会議も好感触で続けていきたい。PTA への積極的参加を促すために PTA 活動の良いところをアピールしていきたい。
- 委員：PTA に関わっている方で情報量に差が出てくる。間違った情報が共有されてしまうこともある。横のつながりがあると、さまざまご家庭の状況を知ることもできる。
- 委員：一般の団体用に「サイボウズオフィス」などソフトウェアなど活用できるとよいのでは？書類の共有等が非常に効率的である。
- 校長：次年度より全県でアプリ「すぐーる」を導入する予定。
- 委員：教育推進 G の「見える化」とはどういったものをイメージしているか？
- 教育推進 GL：引継ぎ業務は基本的に書類ベースとなる。小から高までブツ切れにならないように、引継ぎ資料の一元化を進めている。
- 委員：「昼の遊び場」について、南京玉すだれやその成り立ちなど紹介したり、実際にモノに触れたりできるとよいのではないかと考えている。昨年の秋の遊び場のランタンは非常に感動した。今年度はボランティア参加人数が少し増えた。

7 協議・学校運営の承認

特に異議なし、承認。

8 校長あいさつ

引き続きご支援、ご協力をお願いしたい。

9 事務連絡

- ・次回第4回コミュニティスクール令和8年3月2日（月）開催予定。
- ・その他、みのり会よりイベント等告知。

【配付資料】

- 資料1 令和7年度 第3回たかつコミュニティスクール開催要項
- 資料2 令和7年度 たかつコミュニティスクール部会メンバー一覧表
- 資料3 進路スタンダードのとりくみについて
- 資料4 防災スタンダードのとりくみについて
- 資料5 不祥事防止のとりくみについて
- 資料6 中間評価～年間活動シートより
- 資料7 高津支援学校のコミュニティ・スクール（決定版）
- 学校だより（スマイルのたね）第89号、第90号、第91号